

福祉公安委員会会議記録（第4号）

令和7年 3月12日

福島県議会

1 日時

令和7年 3月12日（水曜）

午前 10時58分 開議

午前 11時58分 散会

2 場所

福祉公安委員会室

3 会議に付した事件

別添「議案付託表」（第1号に添付）のとおり

4 出席委員

委員長	真山 祐一	副委員長	渡邊 哲也
委員	佐藤 憲保	委員	宮下 雅志
委員	山田 平四郎	委員	鈴木 智
委員	橋本 徹	委員	安田 成一
委員	金澤 拓哉		

5 議事の経過概要

（午前 10時58分 開議）

真山祐一委員長

ただいま出席委員が定足数に達しているので、これより福祉公安委員会を開く。

これより警察本部に係る当初予算関係議案の審査を行う。

本委員会に付託された知事提出議案第1号のうち本委員会所管分外2件を一括議題とする。

直ちに、警察本部長の説明を求める。

警察本部長

（別紙「2月県議会定例会福祉公安委員会警察本部長説明要旨（当初予算）」に

より説明)

真山祐一委員長

続いて、会計課長の説明を求める。

警務部参事官兼会計課長

(別紙「議案説明資料」により説明)

真山祐一委員長

続いて、交通部長の説明を求める。

交通部長

(別紙「議案説明資料」により説明)

真山祐一委員長

続いて、警務部長の説明を求める。

警務部長

(別紙「議案説明資料」により説明)

真山祐一委員長

以上で説明が終了したので、これより当初予算関係議案に対する質疑に入る。

質疑のある方は発言願う。

安田成一委員

警7ページの運転免許証作成経費について、マイナンバーカードと一体化するための経費とのことであるが、PRを積極的に実施していくのか。

交通部参事官兼運転免許課長

マイナ免許証の周知等については、県警のホームページに掲載しているほか、マスコミによる報道等もなされている。なお、制度上は、マイナ免許証の1枚持ち、従来の運転免許証の1枚持ち、もしくは2枚持ちがあり、県民にとって分かりにくい点があるため運転免許センターに多くの問合せがあるが、丁寧に説明している。さらに、3月24日の開始日からは、免許受付時にも説明できる職員を専従的に配置し、利用者に不便がないよう対応していく。

安田成一委員

専門の職員を配置するとのことであるが、例えば、マイナンバーに特化した相談窓口や相談ダイヤルを設置するのか。

交通部参事官兼運転免許課長

相談窓口や相談ダイヤルによる継続的な対応は想定していないが、当面は分かりやすく説明できるよう講習窓口を担当職員を配置して対応する。

橋本徹委員

前年度の当初予算では、運転免許証作成経費が約8億7,000万円計上されているのに対し、新年度は約3億円減額となる要因を説明願う。

警務部参事官兼会計課長

3月から開始するマイナ免許証の交付に係る機器等の整備が完了したことが一番の要因である。

宮下雅志委員

警9ページ、新規事業として県民を詐欺等から守る総合対策経費2億8,830万円が計上されている。今定例会の代表質問において、防犯アプリ、メール、SNS、CM等を活用したこれまでの情報発信に加え、新年度は、防犯ボランティアと連携した街頭キャンペーン、検挙に向けた捜査の強力な推進、防犯アプリのプッシュ型通知の活用拡大や行動ターゲティングの手法を活用したバナー広告の表示などを実施するとの答弁があったが、詳細を説明願う。

生活安全部統括参事官兼生活安全企画課長

プッシュ型の情報の対義語であるプル型の情報とは、検索エンジンを用いてホームページに行き着くなど、自ら行動を起こして情報を収集することである。一方、プッシュ型の情報は、スマホを見ていると広告が入ってくるなど、自動的に情報が入るものである。行動ターゲティングの手法については、例えば、家電量販店で電化製品を購入したところ、しばらくの間、家電量販店の広告がスマホ上に表示されるといった経験をした人があると思うが、検索ワードや閲覧したホームページなどの情報をAIが解析し、対象者の興味を判断してニーズに合わせた広告を表示するものである。

県警では、これまでPOLICEメールふくしまやPOLICEアプリふくしまなど様々なツールを使用しており、POLICEメールふくしまについては速報性があり、POLICEアプリふくしまについては内容が充実しているなど非常に有効なものである一方、メールは利用者が登録しなければならず、アプリは利用者がダウンロードしなければならないなど、利用者の行動を必要とするものであり、プル型の情報ツールに分類される。しかし、例えば闇バイトに応募するような人に警

察からの情報を自ら収集するといった意識の高さは期待できないため、そうした人のスマホに警察からの情報をいかに割り込ませるかが課題であり、そこでプッシュ型の情報が有効となる。例えば、出会い系サイトを頻繁に見ると、AIが出会い系に興味があると判断したり、「即日即金」や「ホワイト案件」などの語句を検索すると、闇バイトに興味があると判断したりすることで、その人のスマホに強制的に県警のバナー広告を割り込ませ、広告をクリックすると県警のウェブサイトにつながるといった事業を実施する。

宮下雅志委員

行動を必要としないということは、県民であれば誰にでも情報が届くとの理解でよいか。

生活安全部統括参事官兼生活安全企画課長

そのとおりである。

金澤拓哉委員

福島県警察職員定数条例の一部を改正する条例について、勤務形態の変化により定数が2名変化するものと思うが、定数に対する充足状況を聞く。

警務部統括参事官兼警務課長

質問が聞き取れなかったため、再度質問願う。

金澤拓哉委員

定数に対する実際の充足状況を聞く。

警務部統括参事官兼警務課長

一般職員の定数が494人から492人に削減されるが、実員は定数どおりである。

金澤拓哉委員

そのほかの職種においても定数を充足していると理解してよいか。

警務部統括参事官兼警務課長

そのとおりである。

安田成一委員

警20ページのいわき中央警察署屋上防水及び外壁改修事業については、耐用年数の経過によるものか、それとも新たに防水を施すのか。また、屋上防水と外壁改修の費用の内訳を聞く。

警務部参事兼施設装備課長

いわき中央警察署屋上防水及び外壁改修事業は、いわき中央警察署西庁舎の老朽化に伴うものである。屋上防水と外壁改修の費用は別々に算出していない。

橋本徹委員

警21ページの福島警察署蓬萊駐在所改築事業について、現地の駐在所を解体して同じ場所に建て替えると理解したが、解体中はどこで業務を行うのか。

警務部参事官兼会計課長

蓬萊駐在所の建て替え中は福島警察署に機能を移転し、そこを拠点として管内の治安維持に当たる予定である。

宮下雅志委員

警35ページの生活安全活動費（総合的なサイバー犯罪対策経費）について、サイバー犯罪捜査に必要な機器の整備として、スマホ等の解析機器の賃借料が債務負担行為として計上されている。前年度も、令和7年度から11年度までの5年間、同様の機器の整備が債務負担行為として計上されているが、これは設備を充実させるものと理解してよいか。機器の内容を説明願う。

生活安全部サイバー犯罪対策課長

旧来の機器が発売を中止するため、後継機に入れ替えて5年間リースする。取得できる情報の範囲が増えるなどの機能向上により、様々な犯罪に対応するため措置するものである。抽出機器だけではなく、抽出したデータを見るためのパソコンも高度化し、それに伴いソフトウェアも導入するほか、ソフトウェアの使用には専門の講習を必要とすることから、それらの総合的な費用を計上している。

橋本徹委員

双葉警察署浪江分庁舎の建て替えについて、敷地内での建て替えを検討しているとの新聞報道を見たが、現在の庁舎と比較してどのような規模になるのか。

警務部参事兼施設装備課長

新庁舎については、現庁舎で勤務している職員数がそのまま入れる大きさと、新庁舎に持たせる機能を計算した上で調整している。

橋本徹委員

以前、郡山北警察署が手狭になっているとの話を聞いた。現段階の想定を超える量の業務が発生し、職員数も増えることを想定した設計が必要ではないかとの趣旨で質問したが、考えを聞く。

警務部参事兼施設装備課長

庁舎の面積については、完成後すぐに手狭になることのないよう、将来的な構想なども踏まえて、関係部門と十分に協議しながら必要な面積の確保に努めていく。あわせて、配置人数の小規模な変化にも柔軟に対応できるフロアレイアウトや間仕切り壁の在り方などについて、設計業者や土木部の専門家から技術的な提案をもらい、庁舎の設計に反映させたいと考えている。

真山祐一委員長

ほかはないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

真山祐一委員長

なければ、以上で当初予算関係議案に対する質疑を終結し、これより一般的事項に対する質問に入る。

質問のある方は発言願う。

鈴木智委員

人事異動について、最近は1年で異動することが多いと思うが、基本的な考え方を聞く。

警務部統括参事官兼警務課長

特に基準はない。

鈴木智委員

私が前回福祉公安委員だった際、かつては多くの署長が2年間在籍していた一方、1年で異動する事例があまりにも多く、地域住民から、地域との密着感が薄れてしまい寂しいとの話を聞いた。長い付き合いは地域密着の点でプラスになると思う。そこで、7～8年前の当時に質問したところ、6～7年たてば少しは変化が出てくると言うと言われたが、あまり変化がないように感じる。私としては、特に署長には2年間在籍してほしいと思うが、現状を聞く。

警務部統括参事官兼警務課長

所属長をはじめとする職員の配置については、本人及び家族の健康状態や経歴等考慮して全体を見据えながら適材適所に努めている。なお、今年度、2年継続配置となった警察署長は石川警察署長のみである。また一昨年は、二本松警察署、郡山警察署、須賀川警察署、白河警察署、会津坂下警察署、いわき南警察署の各署長の

6人が令和4年度から5年度までの2年配置となっている。先般の新聞報道にもあったとおり、今年度は警視正級の退職予定者が20名と大幅な人事異動になっているため、2年継続配置が実現してない状況である。

安田成一委員

私の地元のいわき市では、団地等で8件の窃盗被害があり、被害状況を聞くと、たった2時間の留守の間に室外機から上に上って、バーナーで鍵を壊して侵入したとのことである。住人の家族構成や在宅時間等について、犯人だけが分かる隠語や記号が家の門柱や電柱に書かれている事例もあると聞くが、最近の窃盗犯の特徴や動向、対策について聞く。

刑事部捜査第三課長

窃盗犯のうち「侵入窃盗その他」の手口が特に増加している。これは、空き家や神社仏閣に侵入して窃盗を行う類型であり、北関東や東京都、関西などを拠点とする外国人も含む犯行グループによるヒット・アンド・アウェイ型、すなわち本県に犯行に及び荒らして帰る場合が多い。被疑者は車のナンバープレートを偽造しているため、手配が追いつかない状況になりつつある。関東では特に外国人による犯行が多く、犯行エリアが北上し、勿来地区や白河方面で空き家を対象とした窃盗事件が多く見られる。

宮下雅志委員

先ほど、サイバー犯罪捜査に必要な機器の整備について説明があったが、機器の性能向上と同時に、サイバー犯罪専門の捜査員を充足していくことが大きな課題であると思う。県警におけるそうした人員の充足状況を聞く。

警務部統括参事官兼警務課長

専門的なサイバー知識を有する人材について、今年度、専門的な警察官の受験申込みが1名あったが、残念ながら不合格となった。また、警察職員においても、専門的な技術職員の申込みが2名あったが、残念ながら不合格となった。今後とも、優秀なサイバー人材の確保に向けて、様々な広報活動等を積極的に実施していく。

宮下雅志委員

非常に難しい分野であるため、そう簡単には採用できないことと思う。県警では、捜査能力や解析能力の向上のため、民間企業との研修などを推進していると聞いたが、どのような仕組みか。

生活安全部サイバー犯罪対策課長

県警による研修、管区警察局のブロック単位で行う研修、全国的な研修、民間企業による研修の大きく4つに分けられ、県警では専科や集合教養を実施している。さらに、人材を5段階に分けて管理しており、捜査の指揮ができるレベル3以上の約60名については、さらなる技能の向上のため、警察庁が実施する管区規模の研修などを段階的に受講し、最終的には警察大学校で実施される3週間から1か月間の専科を受講するなど、体系的に研修を実施している。また、民間企業による研修については、受講料が高額なものは参加が難しいが、国の予算により安価に受講できるものもあるため、ログの読み方や機材の使い方などについて段階的に研修を受講することで、レベル3以上の人材を100名程度まで増やしたいと考えている。

真山祐一委員長

ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

真山祐一委員長

なければ、以上で一般的事項に対する質問を終結する。

これをもって、警察本部の審査を終わる。

本日は、以上で委員会を終わる。

明3月13日は、午前11時より委員会を開く。

審査日程は、病院局に係る当初予算関係議案の審査である。

これをもって散会する。

(午前 11時58分 散会)